

平成18年度

# 株式会社五霞まちづくり交流センター (道の駅「ごか」)の経営状況



株式会社五霞まちづくり交流センターにおける平成18年4月1日から19年3月31日までの経営状況が公表されましたので、お知らせします。

道の駅「ごか」は平成17年4月23日にオープンし、来場者数は順調に増加しており、平成18年度における施設延べ利用者数は、前年度を大きく上回る約73万2千人に達し、農産物直売所を含む総売上高は約7億2,400万円、交流センターとしての経常利益は約2千万円となりました。

## 地域食材供給施設

レストラン「華ごぶし」

さまざまな地域食材を利用した食事を提供し、昼食時には家



幅広い客層に利用される

族連れや観光団体での来店が多くありました。

軽食コーナー(加工施設)

レストランと並ぶ軽食コーナーは幅広い客層に利用され、特に種類の豊富なアイスや人気のローズポークまんは大変ご好評をいただきました。

農産物直売所

「わだい万菜」

茨城むつみ農業協同組合に経営を委託しており、毎日新鮮な地場産農産物等を求めて多くの来客がある場で、道の駅「ごか」の活気をより引き立てました。

## 情報施設・交流広場

情報施設では道路情報の他、行政、文化等の地域情報を検索できるシステムが備わっており、さまざまな道路利用者に利用されました。

また交流広場では、定期的に商工会による「ごぶし市(フリーマーケット)」が開催された他、施設に隣接する畑を利用したコスモス祭りなどのイベントを開催し、人や自然とのふれあいの場で大勢の来場客にぎわいました。

売上割戻金  
約1千万円を  
町に納付

売上割戻金とは、(株)五霞まちづくり交流センターから施設の利用による受益の割戻金であり、売上高に応じ、平成18年度分として1千10万6,386円が町に納付されました。

なお、割戻金については、道の駅「ごか」における今後の修繕費用等へ充てる予定です。



コスモス祭りによる自然とのふれあい